

# サービス通信

FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.  
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

ACAB/ APPROVED

NO. FAS-054 DATE 昭和46年 3月20日 (SUPERSEDES NO. )  
REV. A DATE 平成17年 9月26日 (SUPERSEDES NO. )  
REASON 作業区分の明確化及び作業内容の変更

1. 標 題 : 主脚車軸のスペーサーの変更及び車軸の交換
2. 適用機体 : FA-200 の機体全機
3. 適用度 : 要望事項
4. 目 的 : スペーサーを変更することにより主脚車軸のグリースシールに依る摩耗防止、及び摩耗した車軸の交換方法を規定する。
5. 指 示 : 主脚車軸のスペーサーの形状を変更する。又摩耗のある車軸は交換を実施する。
6. 実施時期 : 任意
7. 承認 : 航空局承認対象外
- 7 A. 作業区分 : この作業は小修理に該当する。
8. 所要部品 : この作業には下記の部品が必要である。

部品番号	部品名称	1機当個数	備考
200-812160-005	SPACER	2	
200-812000-603	SOCKET & AXLE ASSY	2	車軸を交換する場合に使用する。

9. 特殊工具 : なし
10. 重量重心 : 変化なし
11. 準拠資料 : なし
12. 所要工数 : 1.5H (車軸の交換含まず)  
8.0H (車軸の交換を含む)



1 3. 作業手順：

- (1) サービスマニュアル項目 2-2 を参照して機体をジャッキアップする。
- (2) サービスマニュアル項目 9-3-5 に依り主車輪を取り外す。
- (3) 車軸、ベアリング及びシール等を洗浄する。
- (4) 車軸を点検し、損傷がないか確認する。もし損傷の兆候が認められた時は次の手順に依り車軸を交換する。車軸のオイル・シール接触部の摩耗が軽微な場合は、(5)項以降の手順によりスペーサーを新部品と交換する。
  - a. ブレーキ・ホースをホイール・ブレーキ組立の接続部で取り外す。このときブレーキ系統の作動油を受ける為、受皿を用意する。
  - b. サービスマニュアル図 9-5 を参照してトルクニー(18)とソケット(27)を取り付けているピン(20)を取り外し、トルクニーとソケットを分離する。
  - c. ソケットとピストン(16)を取り付けているボルト(28)を取り外し、ソケットをピストンから引抜く。
  - d. 車軸からホイール・ブレーキをサービスマニュアル項目 9-5-6 に依り取り外す。
  - e. (削除)
  - f. 新品の車軸 200-812000-603 にホイール・ブレーキを取り外しの逆の手順で取り付ける。
  - g. ソケットをピストンに挿入し、前項 c. で取り外したボルトで組立てる。
  - h. トルクニーとソケットを組立てる。
  - i. ホイール・ブレーキ組立にブレーキ・ホースを接続する。
- (5) スペーサー200-812160-008 を新しいスペーサー200-812160-005 と交換し、主車輪を取り外しの逆の手順にて組立てる。
- (6) 前項(4)の作業を実施したときは、サービスマニュアル項目 9-5-11 に依りブレーキ系統に作動油を充し、系統の空気抜きを行う。
- (7) 機体をジャッキから取り卸す。

改訂理由

メッキ、脆性除去はユーザーの修理能力を越えるため車軸に損傷が認められたときは、交換とした。なお、本サービス通信 FAS-054A の発行により、FAS-054 はキャンセルされる。